

ブログ・スピード for くりっく365

元銀行為替ディーラーの「だいまん」率いるプロ集団が24時間ホットな為替情報を発信し続けます。

記事に対するコメントも随時受付中です。

※コメントの投稿には名前(ニックネーム)・メールアドレスの入力が必須です。

2006年10月17日 (火)

スイス円(London&NY)

:(予想レンジ=93. 50-94. 00)

戦略: Buy/Sell

下値は93. 55-60で限定気味で、戻り安値とサポート形成の可能性からは、突っ込み売りは危険な水準。戻りの状況待ちだが、上値は93. 85-90、93. 95-00に急激なレジスタンスが控え、こういった位置がCapするなら下落リスクが継続する。また越えるケースでは、若干アク抜け感がでも、それであっても、94. 25の戻り高値から、94. 35-40のレジスタンスの最終を越えるまでは、再上昇とはなりづらい。一方下値は、93. 55-60を割れると93. 20-50の日足の安値ゾーンが視野となる。従って戦略だが、93. 55-60と93. 85-90のブレイクに注目となるが、ホールドした方向の逆張りから、ブレイクの場合上値は93. 95-00での売り上がり。ストップは94. 35-40越えて、94. 25までは売り上がりスタンス。一方下値は93. 20-50ゾーンでの買い戻しとなるが、買い戦略はこの下限を割れると92. 50-70までの下落リスクとなることから注意が必要で、こういった下落ではあまりお勧めとは言えない。(予想時レート: 93. 75 予想時間: 17:15)

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 17時22分 [相場見通し](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

カナダ円(London&NY)

:(予想レンジ=104. 25-105. 00)

戦略: Sell on Rally

軟調な展開が継続して、下値は104. 50まで拡大したが未だスピード感は出ていない。引き続き堅調な下落波動があって、マイナーレジスタンスと戻り高値となる104. 70-80、更には節目と重なる105. 00-05のそれまでのレンジの下限が上値をCapするなら下落リスクが継続して、104. 50を割れると下落は、104. 20-30の下落チャンネルの下限から戻り安値、更には104. 00の節目から、日足のレンジの再下限となる103. 70が視野となるので注意。特に103. 70を割れると相場は崩れるリスクとなる。従って戦略だが、まずは104. 50と104. 70-80のブレイクに注目して、上値は104. 70-80と105. 00-5での2段階での戻り売り戦略。ストップはフラッグの中心となる105. 25-30、また上限となる105. 45-55越え。ターゲットは104. 50を割れると102. 20-30の動向次第。一旦維持なら買い戻し優先となるが、割れても104. 00の手前では買い戻しが良さそうだ。また日足チャートからは、大きなレンジの下限となる103. 70-00が焦点となるが、こういった維持では未だ買いが検討されるが、割れると相場が崩れるので、しっかりとストップ・アウトしての対応となる。(予想時レート: 104. 60 予想時間: 17:10)

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 17時22分 [相場見通し](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

NZD円(London&NY)

:(予想レンジ=78. 45-78. 80)

戦略: Range Trade

一旦79. 05-10の高値からの調整相場が、78. 20-25の安値で小休止気味となり、60分足上は下値にサポートが78. 40-50に位置して、こういった維持では下落は進まない感じ。また上値は78. 70-80にレジスタンスが位置して、次のこういったブレイクから方向感となりそう。それまでは揉み合い気味となる可能性だが、ブレイクの場合、上値は78. 95-10の戻り高値位置から、週足Gapとなる79. 20の上抜けが焦点で、こういった位置がCapされると未だ上昇には時期尚早感。一方下値は、戻り安値圏となる78. 20-30ゾーンがキーとなるが、割れると78. 05-10の節目がターゲットとなるが、こういった位置で下げ止まるかは不透明も、更なる下値の節目となる77.

2006年10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

フォントサイズ

文字拡大ツール



ニュース

FC2 News | 金融

- [日本クレジットカード協会、ICカード対応クレ... \(17:13\)](#)
- [三井住友海上、天候デリバティブ「雷デリバティ... \(17:13\)](#)
- [セブン銀行、全ATMで北洋銀行のICカード対... \(17:13\)](#)
- [東証大引け・3日ぶり反落――利益確定売りで、... \(16:02\)](#)
- [新興市場17日・ジャスダック平均が3日続伸一... \(16:02\)](#)

バックナンバー

[2006年10月](#)

[2006年9月](#)

カテゴリ

[NZドル円](#)

[オージー円](#)

[テクニカル分析](#)

[ドル円](#)

[ポンド円](#)

[モノローク](#)

[ユーロドル](#)

[ユーロ円](#)

[取引レンジ](#)

[市場の噂](#)

[相場見通し](#)

90-95、77.75-80の戻り安値を割れると相場が崩れるので注意。従って戦略だが、78.40-50と78.70-80でのレンジ・トレード気味戦略。ブレイクがあると、順バりが検討されるが、上値は78.95-78.20ゾーンでは利食い優先で、戻り売り戦略は、79.70越えがストップとなる。一方下値は、78.05-10では買い戻し優先で、買い戦略は、77.75-80割れをストップに、77.90-78.10ゾーンでは1回検討課題となるが、77.75-80を割れるなら順バりが検討され、その場合77.50がターゲットとなる。(予想レート: 78.75 予想時間: 16:55)

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 17時21分 [相場見通し](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

オージー円(London&NY)

:(予想レンジ=89.30-89.90)

戦略 : Buy on Dips

下落は昨日の89.45-50から89.60-65で限定されて底堅い状況が継続している。ただし、上値もサイコロジカルな90円を前に、89.85-90がCapしており、レジスタンスが一旦生きる形からは、上値追いも得策とは見えない。引き続き90円台に対する警戒感からの保合状況が継続する見通しからは、大きなDips待ちでの買い戦略が良いが、下値はこの89.60-65、89.45-50を割れないと調整は進まず、割れても89.30-35の節目や89.00-15の窓などが焦点となり、88.75-80を割れるまでは買いが検討される。一方上値はレジスタンスとなる89.85-90を越えるとサイコロジカルな90円、更に強い90.40-50のオージー円の下落が開始した位置が控える。従って戦略としては、まずは89.60-65と89.85-90のブレイクに注目されるが、基本的に90円を越えるまでは売り気味の戦略から、Dips待ちでの買いスタンス。一旦89.45-50、89.30-35、89.00-15まで買い下がり場待ちとなる。ストップは88.75-80割れ。(予想レート: 89.75 予想時間: 16:45)

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 17時20分 [相場見通し](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

本日も、海外市場まかせ?

本日(10月17日)の東京市場も、残念ながら、具体的な動きらしい動きが無い。

本日(10月17日)の東京市場のドル/円(USD/JPY)は、[119.05-10]レベルで寄り付いたが、今のところ、[119.00]を挟んで、10銭程度の上下動を繰り返しているだけ。

夕方になって、
---欧州勢・ロンドン勢の参入してくる時間帯になって---
若干、「円高気味」に推移している。

ユーロドル(EUR/USD)にも動きらしい動きなし。

故に、ユーロ/円(EUR/JPY)は、ドル/円(USD/JPY)の影響で、同じく、若干、「円高気味」に推移。

本日も、海外市場まかせで、東京市場が静か過ぎる印象...

投稿者 物語 日時 2006年10月17日 (火) 16時57分 [ドル円](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

ポンド円(London&'NY)

:(予想レンジ=220.80-222.20)

戦略 : Buy/Sell

引き続き揉み合い的で、ほぼ221.40-50から221.85-90での動向で、方向感を言うことは難しいが、サポートからは既に221.40-50が最終位置に当たることから、この下方ブレイクでは調整が進む可能性となる。その場合221.15-20の戻り安値や220.80-85の下ヒゲの節目などが視野となり、こういった位置を割れると220.45-50の戻り安値から、日足フラッグの下限となる220.60-65がターゲットとなるので注意。またこういった位置を割れるかどうか不透明も、割り込むと相場が崩れる可能性となるので注意。一方上値は、レジスタンスからは222.15-20、戻り高値となる222.35-40、222.60-65などがポイントとなるが、こういった位置を越えるとアク抜け感となる。従って戦略だが、221.40-50と221.85-90の次のブレイクに注目して、ホールドした方向の逆張りから、ブレイクでの順バリとなる。上値は、222.15-20、222.35-40では利食い優先で、売り戦略は、222.15-20と222.60-65での2段階での検討課題。ストップは223.10-20越えとなる。一方下値は、221.15-20を割れならなら利食い優先も、割れると220.80-85、220.45-65ゾーンなどが良いターゲットとなる。また買い戦略はフラッグの下限となる220.45-65

経済指標

緊急市況

要人発言

通常市況

雑観・雑学

最近の記事

[スイス円\(London&NY\)](#)

[カナダ円\(London&NY\)](#)

[NZD円\(London&NY\)](#)

[オージー円\(London&NY\)](#)

[本日も、海外市場まかせ?](#)

[ポンド円\(London&'NY\)](#)

[ユーロ円\(London&NY\)](#)

[ドル円\(London&NY\)](#)

[ドル/円\(USD/JPY\)の下落は、ポジション調整](#)

[東京午前概況](#)

最近のコメント

[だいまん on NZD円\(London&NY\)](#)

[NZ売り on NZD円\(London&NY\)](#)

[ポンド買い on ご質問に対するチャート](#)

[だいまん on 日足参考チャート\(ポンド円\)](#)

[だいまん on 日足参考チャート\(ポンド円\)](#)

[ポンド買い on 日足参考チャート\(ポンド円\)](#)

[NZ売り on 昨日のレンジ](#)

[だいまん on 本日の材料](#)

関連リンク

[株式会社ハーベストフューチャーズ](#)

[ハーベストオンライン](#)



[外国為替証拠金取引『為替ライブ』](#)

[ハーベストフューチャーズの為替総合サイト](#)

[為替ライブセミナー](#)

[当社開催予定のセミナー情報はこちらです。](#)

[ハーベストフューチャーズ「くりっく365」](#)

[取引所為替証拠金取引「くりっく365」のウェブサイト](#)

[外為トレード](#)

[店頭為替証拠金取引「外為トレード」のウェブサイト](#)

で1回検討されるが、ストップは219.90-00割れで、この下方ブレイクがあると順バリとなる。(予想時レート: 221.55 予想時間: 16:25)

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 16時27分 [相場見通し](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

ユーロ円(London&NY)

:(予想レンジ=148.50-149.45)

戦略 : Sell on Rally

ほぼ小動きだが149円が割れず、上値も149.35が越えられない揉み合い相場。引き続き149円口は神経質そうで、強弱感が入り混じる展開からは注意が必要となるが、149.40-45から149.55-60の窓が越えられない相場であれば、下落リスクが継続する形と見ざるを得ない。また越えても旧来のフラッグのレジスタンスとなる149.70-95などでは戻り売りが出易い。一方下値は149円をしっかりと割れて、149.70-75を割れると大きなストップと成り易く、148.50のサイコロジカルはあるが、チャート上は148.00-30の窓位置がターゲットとなる。またこの148円前後は、日足のネットワーク・ラインの位置となることから重要で、特にこれを割れて147.55-75ゾーンの戻り安値は試金石となるので注意。従って戦略だが、まずは149.00-05と149.30-35のブレイクに注目しての対応となるが、戻り売りが検討され上値の149.30-35と149.40-45での2段階の売り上がり戦略。ストップはタイトなら149.55-60越え。また余裕なら149.70-95での売り上がり余地を残すも方法。このストップは150.20-30越えとなる。ターゲットは149円のファーム・ブレイクが必要だが、148.70-75を割れると売りはコンファームされ、その場合148.30-50ゾーンなどがDayのターゲット。また買い戦略は、148.00-30などでは短期逆張りの戦略からは参入が可能と見られるが、Dayベースではしっかりと利食っておきたい。また更に147.70-75の戻り安値を割れると下落は147.50を目指すリスクから注意が必要となる。(予想時レート: 149.20 予想時間 :16:10)

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 16時26分 [相場見通し](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

ドル円(London&NY)

:(予想レンジ=118.35-119.35)

戦略 : Sell on Rally

軟調な展開も118.80-90が割れず、底堅いというか、動意に薄い展開。更に一番近いレジスタンス位置が119.05-10にあって、既にこれを越えていることから、一定の反発はありそうで、突っ込み売りが推奨される状況ではない。反発の目処は次なるレジスタンス位置となる119.15-25や119.30-35で、更なる上値には119.40-45から119.55-60の窓が控え、こういった位置がCapを継続するなら下落リスクが継続する。ただし、越えるはこの限りではないが、それであってもRHとなる119.70-90ゾーンを越えるまでは、120円トライとなりづらい。一方下値は、118.80-90の窓の上限位置が試金石となることは変わらないが、割れるとこの窓内の節目となる118.50-65、中長期レジスタンスのファン・ラインとなる118.30-40、窓の下限となる118.15-20などが下げの目処となる。従って戦略だが、戻り売りが検討され、119.15-25と119.30-35での2段階での戻り売り戦略。ストップは119.55-60の窓の上限越えて、119.40-45の窓下限まで売り上がりが検討される。ターゲットは118.80-90が割れればコンファームされ、118.50-65での買戻し。また買い戦略はこの位置から、118.30-40、118.15-20と買い下がり、ストップは117.90割れとなる。(予想時:レート:119.10 予想時間:15:35)

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 15時55分 [相場見通し](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

ドル/円(USD/JPY)の下落は、ポジション調整

昨日(10月16日)は、夕方になって、---東京市場の夕方4時を過ぎて、---ドル/円(USD/JPY)は、[119.50]を割り込み、下落を始めたが、それは、東京市場の動きではなく、欧州市場、ロンドン市場の参加者が参入してきたからだ、と考えている。

ドル/円(USD/JPY)の下落は、このところのマーケットで、ドルを買っていた市場参加者のポジション調整だ、と考えている。

換言すれば、先週末、「北朝鮮の核実験」や、「米国経済指標の解釈の仕方によっては、米国経済は強い(だからドル金利は、さらに上昇する可能性がある)。」といった考え方で、

Dealers



ディーラーズ・ホットラインにて情報発信をおこなっているプロ集団をご紹介します。

ご注意

このレポートに掲載される全ての内容は情報提供のみを目的とされており、投資の推奨を行うものではありません。情報は当社及び執筆者が信頼に値すると判断したものだけを扱っておりますが、それを基にして行った取引その他の結果において一切の責任を負うことはありません。取引の決断はあくまでも個人の判断において行ってください。外国為替証拠金取引はリスクの高い取引であり、多大な損失をもたらす場合があります。投資を行う前には十分な考慮が必要です。

ドルを買った市場参加者が大勢いた。

ところが、ドル/円(USD/JPY)は、[120.00]を目前に、未だトライすることがない状態が続いている。

それで、相場が下落すると、目先でドルを買った向きが、あきらめて、ドルを売っている。---ポジションを縮めている。---そういったポジション調整的な動きが出ている。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

昨日(10月16日)のトピックとして、ロシア中央銀行が、外貨比率を変更する、といったニュースもあった。

それは、単に、ポジション調整が起こる「きっかけ」になった過ぎない、と考えている。

---ロシアの外貨比率の変更は、マーケットに影響のある重要なニュースだと思っています。しかし、マーケットのポジションの状態が、ドル/円(USD/JPY)で、ドル・ロングに、大きく傾いていたので、このニュースに反応したのだ、と考えています。---

---別な言い方をすれば、ドル/円(USD/JPY)のマーケットのポジションが、それ程、ドル・ロングに傾いていなければ、今月初めの米国雇用統計や、あるいは中旬の米国貿易収支のように、「通常なら、ドル売りの材料」であるにもかかわらず、それを無視したように、今回のロシアの外貨準備比率のニュースを無視した可能性もある、ということです。---

投稿者 物語 日時 2006年10月17日 (火) 13時35分 [ドル円](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

東京午前概況

17日の東京市場午前の取引は閑散。昨日からの流れを引き継ぎ、尾身財務相「ロシア中銀の外貨準備における円比率引き上げ、歓迎すべきこと」との発言から、ドル円は118.93まで値を下げる局面もあったが、下値のストップ・ハントに失敗し、韓国政府当局が「北朝鮮が2度目の核実験準備をしている兆候」と発表したことを受けて、119.13まで反発したが、こちらも更に上値を追う状況となっていない。またユーロドルは、1.2526から今夜のドイツZEWを前に、ポジション調整から、1.2546まで底堅く推移、ポンド円ドルも1.8612から1.8638で小動きで推移している。

一方クロス円も動意が薄い、ユーロ円は149.15から149.33、ポンド円は221.48から221.86、オージー円は89.56から89.77、NZD円は78.44から78.74で推移している。

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 12時56分 [通常市況](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

ドル円が119円前後で、足踏み状態が続いているが、実需の売りも119円台半ばまでは散見されても、未だに調整段階の米ドル売りが支配してはいるが、118円台には利益確定の買いと損失確定の買いも交錯しており、118円台半ばでは堅調な買い需要も見られるため、下値限定相場でもある。

本格的にドル円120円トライが演じられていない相場だけに、当面はドル円の上値の重さを感じさせるマーケットである。119円台半ばの売りを基準に下値を探る展開が見込まれるため、119円台半ばの売りを勧めるとともに、利益確定の買いが散見される118円台70~80円の買いを推奨する。

ユーロドルもドル円同様な動きを見せており、1.250割れもないが、1.260台に向けてのユーロドル買いにも勢いがかんじられず、1.25台後半ではストップロスの売りと利益確定の売りがあり、上値を重くさせている。1.25前後の買いと1.250台後半の売りを推奨する。

▼邦銀勢によれば、輸出企業の売り姿勢としては、120円売りは消滅気味であり、119円台半ばから断続的な売りが散見される。一方、輸入企業の買いは118円台半ばからの始動になる模様。機関投資家も動意が感じられず、海外の参入まで動きはないだろう。

▼海外勢によれば、ユーロドル1.25台半ばの売り調整で、新規ポジションの機会でもあるが、1.25前後の下値が堅調と判断し、同レベルでの買いオーダーが散見される。売りはあくまでも1.26台からの始動と見られ、断続的な売りが散見される。ドル円、ユーロドルとも調整色が濃く、ユーロドル1.2550を挟んだレンジ相場であり、1.250の買いと1.2600の売りで様子見が正解であろう。

▼クロス円はユーロ円150円の重さが浸透しており、クロス円の買いは自重することを勧める。キャリアトレード狙いの段階として妙味は無く、ドル円の上値の重さからしても売りを本線に考えることを勧める。ユーロ円149円台半ばの売りを勧めるが、買いは148円台半ば割れまで待機する

事を勧める。豪ドル円は90円台の上値の重さもあるが、原油価格の再上昇が無ければ、上値も限定的と判断するのが賢明であり、上値を追う展開ではなく、買いは様子見を勧める。

投稿者 ケンティッシュ鈴木 日時 2006年10月17日 (火) 10時43分 | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

東京朝

ドル円は、尾身財務相の「ロシアの外貨準備における円比率引き上げ、歓迎すべきこと」との発言もあって、118.93まで押したが、下値の119.70-80のストップをつけられず、反発気味。ただし、上値も重いのも事実。

北朝鮮の2度目の核実験観測報道もあり、売り込みづらい雰囲気は続いている。

ユーロ円は動きが鈍く、149.18-33での揉み合いに終始している。

ユーロドルは高値1.2546までで堅調推移。

8月第三次産業指数は+0.7%。市場の予想よりも弱い内容。

今晚の指標に対しては、米9月PPIは原油価格の落ち込みから安定した数字が想定されるが、8月対米証券投資は、同時期の海外投資の買いニーズが金利の下落もあって堅調だったことを考えると強気の見通しが多数。PPIまでは弱気も、対米証券投資でドル上昇のシナリオを描く向きが多い。またドイツZEWは悪い数字がほぼ織り込まれており、少しでも予想を上回る数字の場合、基本的によくはないとしても、ユーロが買われるリスクがある。

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 10時27分 [通常市況](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

レンジ相場が続く

来週の24日のFOMCが近づくに連れて、再度、米金利に対する様々な見解が増えている。

さすがに利下げは視野に入っていないが、FRB関係者も含めて、インフレ懸念による金融引締めと、据え置きが交錯している模様である。

堅調な米国株式市況を見る限りは、現状維持が最も好ましいと判断すべきであり、米経済のソフトランディングに向けての順調な滑り出しを考慮すれば、利上げ及び利下げ論は単なる弊害にもなりかねない。おそらく、11月の米中間選挙に向けて、今後は過剰な米ドル高を危惧する見解も多く、少なくとも段階的な米ドル安が日米欧でも歓迎されるステップでもある。

本邦でもドル円115円から120円前後まで円安が進み、株式相場が堅調に推移し、安定水域に到達したと思われる。年内および来春には日経平均2万円と欲張った見解もあるようだが、円安と低金利の恩恵は17,000円までと見るのが健全であろう。繰り返しになるが、ドル円120円、ユーロドル1.250、そしてユーロ円150円が依然として大きな節目であることに変わりがない。昨日はロシア中銀が外貨準備の構成比率を変更することに、円が買われた要因ではあるが、ロシアの外貨準備高が中国と日本に続き、世界3位の2700億ドル水準まで達しているが、このような懸念は今に始まったことではなく、日本を除けば、中東筋及び中国も同様な意識はもっており、ロシアのみならず、世界的な為替リスクの概念でもある。ただし、現実には米ドル保有資産売却となれば、米ドル急落リスクを自ら招くことにもなり、当面は新たな外貨準備のみが他の通貨に向けられると考えるのが妥当な考え方であろう。

通貨	予想レンジ
ドル円	118.60~119.40
ユーロ円	148.70~149.50
ユーロドル	1.2500~1.2580
豪ドル円	89.20~90.00

投稿者 ケンティッシュ鈴木 日時 2006年10月17日 (火) 10時25分 [相場見通し](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

昨日のレンジ

CCY	Open	High	Low	Close
USD/JPY	119.65	119.80	119.01	119.04
EUR/USD	1.2512	1.2538	1.2490	1.2535
GBP/USD	1.8557	1.8647	1.8532	1.8617
USD/CHF	1.2732	1.2755	1.2693	1.2704
USD/CAD	1.1322	1.1391	1.1348	1.1376
AUD/USD	0.7510	0.7547	0.7493	0.7537
NZD/USD	0.6570	0.6598	0.6546	0.6596
EUR/JPY	149.70	149.76	148.97	149.20
GBP/JPY	222.02	222.22	221.39	221.60

AUD/JPY	89.86	89.92	89.46	89.73
NZD/JPY	78.64	78.68	78.23	78.51
CAD/JPY	105.12	105.35	104.59	104.65
CHF/JPY	93.98	94.00	93.48	93.98

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 08時44分 [取引レンジ](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

昨日の海外市場

16日のロンドン市場は、東京終盤に出たロシア中銀の外貨準備に関する話から、ドル売り気味の相場が継続した。またNY市場では、予想を上回る10月NY連銀製造業景気指数にも関わらず、需給が市場を圧迫してドル売り気味の相場展開が継続した。ユーロドルは1.2507まで下落する局面もあったが、ショートカバー気味に1.2538へ上昇、ポンドドルは1.8583から1.8647での推移となり、ドル円は反発を119.42に限定して、一時119.01の安値をつけ安値圏で引けた。一方クロス円は総じて軟調気味で、ユーロ円は、アルムニアEU委員の「アジアにおけるより柔軟な為替レートは世界的不均衡の是正に役立つ」との発言を受けて、149.42の高値からは、一時148.97の安値をつけた。またポンド円は222.22から221.39へ値を下げ、オージー円は、東京の安値からは堅調な展開で、89.54から89.92まで一時反発した。

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 07時23分 [通常市況](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

スイス円(Asian Time)

(前日レンジ=93.48-94.00):(予想レンジ=93.45-94.05)

戦略: Sell on Rally

上値は94円を超えず、下落は93.55-60まで拡大した。未だターゲットとした93.20-50ゾーンへ突入していないが、上値は急激なレジスタンスとなる93.80-85がCapすると下落リスクが高く、超えても93.95-05、94.25-40のレジスタスや戻り高値位置を越えるまでは上昇が覚束ない。引き続き戻り売りが良いが、あまり突っ込んでの売りは避けたい。反発待ちから、93.80-85はCapを確認してから、一応93.95-05などでの戻り売りが理想で、94.25-50までは売り足しが検討される。ストップは、94.70-90越えで。ターゲットは93.20-50ゾーンの戻り安値と日足のサポートが重なる位置では一旦ととなる。また買い戦略は93.20-50ゾーンでは一回検討課題も、この下限を割れると92.50-70までの下落リスクとなることから、注意が必要で、割れるとしっかりとストップ・アウトが必要となる。(予想レート: 93.70 予想時間: 06:55)

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 07時23分 [相場見通し](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

カナダ円(Asian Time)

(前日レンジ=104.59-105.35):(予想レンジ=104.30-105.10)

戦略: Sell on Rally

105.00-05のレンジの下限を割れたが、下落は現状104.60-65とターゲットとした104.50処へ拡大していない。ただし、上値は104.80-85のレジスタンスや逆レジスタンスとなる104.95-105.10などを越えないなら下落リスクが継続することから、こういったCapでは戻り売りが検討される。ストップは、フラッグの中心となる105.25-30または、上限となる105.45-55越えで、下値は104.50の節目の動向次第で、割れると104.00-30ゾーンなどは良いターゲットとなる。また日足チャートからは、大きなレンジの下限となる103.70-00が焦点となるが、こういった維持では未だ買いが検討される。(予想レート: 104.70 予想時間: 06:45)

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 07時22分 [相場見通し](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

NZD円(Asian Time)

(前日レンジ=78.23-78.68):(予想レンジ=78.10-78.80)

戦略: Buy/Sell

軟調な展開も、下値を78.20-25でホールドして、戻り安値となる78.30-35でサポートを描く状況からは突っ込み売りは出来ない。特にこのサポートとなる78.30-40などが維持されると調整的な反発が想定され、レジスタンスとなる78.55-60、78.70-80などへの反発が焦点となる。こういった位置が上抜けるかは不透明だが、Capされると下落リスクが継続する。一方下値は、78.20-25を割れると節目となる78.05-10などがターゲットとなるが、こういった位置で下げ止まるかは不透明も、節目となる7

7. 90-95、77. 75-80の戻り安値を割れると相場が崩れるので注意。従って戦略だが、まずは78. 30-40と78. 55-60のブレイクに注目しての対応となるが、上値は78. 55-60と78. 70-80での2段階での売り戦略。ストップは79. 10-20越え。一方下値は78. 30-40を割れないなら買い戻し優先となるが、買い戦略は、77. 75-80割れをストップに、77. 90-78. 10ゾーンでは1回検討課題となるが、77. 75-80を割れるなら順バリが検討され、その場合77. 50がターゲットとなる。(予想時レート: 78. 50 予想時間: 06:20)

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 06時40分 [相場見通し](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

オージー円(Asian Time)

(前日レンジ=89.46-89.92) : (予想レンジ=89. 35-90. 00)

戦略 : Buy on Dips

上値の89. 90-95からは調整的な状況となり、下落は89. 45-50まで加速。ただし、この位置では強い下ヒゲを描き、上値の89. 80-85のレジスタンスを超える強い上昇となっており、下値での買い意欲が感じられる。突っ込み売りは避けなければならないが、それでも上値は89. 85-90にレジスタンスが残り、サイコロジカルな90円、またこれを越えると更に強い90. 40-50のオージー円の下落が開始した位置が控え、こういった位置を越えるには時期尚早感。一旦は利食い売りが良い状況からは上値追いも厳しい。一方下値は、下ヒゲの節目と窓となる89. 60-70が維持されると相場は強いが、維持できないケースから、89. 45-55の節目と戻り安値を割れると89. 35の節目や89. 00-15の窓などが焦点となり、88. 75-80を割れるまでは買いが検討されるが、この位置を割れると注意が必要となる。従って戦略としては、まずは89. 60-70と89. 85-90のブレイクに注目されるが、ホールドした方向の逆張りから、ブレイクでの順バリ気味も、上値は90円を越えるまではしっかりと利食い、更に90. 40-50を越えるまでは戻り売りが検討される。一方下値は89. 45-55を割れないなら買い戻し優先も、割れると89. 35から89. 00-15まで買い下がり。ストップは88. 75-80割れとなる。(予想時レート:89. 75 予想時間: 06:30)

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 06時39分 [相場見通し](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)

ポンド円(Asian Time)

(前日レンジ=221.39-222.22) : (予想レンジ=221. 15-222. 10)

戦略 : Range Trade

引き続き揉み合い的で方向感を言うことは難しいが、レジスタンスからは既に222. 00-10などがCapすると下落リスクが継続する形。越えても222. 35-40、222. 60-65の戻り高値を越えるまでは上昇も厳しそう。一方下値はサポートとなる221. 40-50をしっかりと割れると221. 15-20の戻り安値や220. 80-85の下ヒゲの節目などが視野となり、特に220. 45-50の戻り安値から、フラッグの下限となる220. 60-65を割り込むと下落が進む可能性となるので注意。従って戦略だが、221. 40-50と222. 00-10のブレイクに注目となるが、フラッグの中で揉み合い的な相場も、一旦レジスタンスに抑えられて短期的下値トライが強そうで、222. 00-10方向への反発での戻り類戦略気味で、222. 35-40では売り上がりが検討され、ストップは222. 60-65越え。ただし、下値は221. 40-50、221. 15-20を割れならなら利食い優先も、割れると220. 80-85、220. 45-65ゾーンなどが良いターゲットとなる。また買い戦略はフラッグの下限となる220. 45-65で1回検討されるが、ストップは219. 90-00割れで、この下方ブレイクがあると順バリとなる。(予想時レート:221. 60 予想時間: 05:55)

投稿者 daiman 日時 2006年10月17日 (火) 06時38分 [相場見通し](#) | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)